

地域活動のリアル Vol.3

～みんなの実践 聴き合おう 語り合おう～

令和7(2025)年6月27日(金) 午後6時30分～8時30分 @セッション杉並

主催・お問い合わせ：杉並区立社会教育センター 03-3317-6621



社会教育士

ワークショップ概要

「ラウンドテーブルミーティング(以下ラウンドテーブル)」という手法を用いたワークショップの3回目を実施しました。今回も、地域や分野を越えて、活動の実践を聴き合い・語り合いました。様々な人とつながりながら、一人ひとりがそれぞれの活動へのヒントや新たな視点を得られる機会として広がっています。



講師 倉持 伸江先生 (東京学芸大学総合教育科学系准教授)

参加者数 46名 (主に区内で活動をしている方・杉並区の職員など)

ラウンドテーブルについて

- ① 倉持先生からラウンドテーブルのレクチャーがありました。
- ② グループごとに語り手2名が事例報告を行い、聴き手からの質問や感想などを通して、学び合いました。
- ③ 全体でふりかえりを行い、今日の感想を共有しました。

ラウンドテーブルのポイントは
こちらから！



https://www.city.suginami.tokyo.jp/documents/7884/manabiai0110_1.pdf

グループの構成

共同で
ふりかえり(省察)、
探究し、つながり合い
学び合う場



語り手 2名

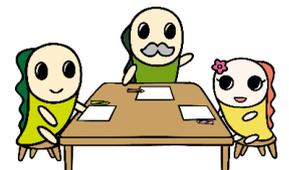
- ▶ 自らの活動の経験について語る (事例報告)

聴き手 4名

- ▶ 語り手の実践にじっくりと耳を傾ける “共同学習者”・“共同探究者”
- ▶ 内1名はファシリテーターとして進行役に

事例報告のテーマ

- ▶ 「ドロパッ！」を中心にした地域と新技術の橋渡し ドローンでつなぐ、街と地域の人々
- ▶ 子どもの笑顔あふれる街、子どもの居場所を増やしたい
- ▶ 地域と学校のつなぎ役として ～“傍流”から見た地域おこし～
- ▶ 「身近なボランティア活動」～結果的に「芋づる式」に拡がってしまう～
- ▶ 里親リクルート実践と「質の高い家庭養育」をめざした支援について
- ▶ 杉並まちづくり交流協会の活動 ～人のつながり・多様性を活かす！～
- ▶ こんど神明中にあそびにいきませんか？ ▶ 小さな八百屋と農家さん ←→ 商店街とお客さん
- ▶ 無いから作る 居場所づくり ▶ “いいこと”は良いことなのか？
- ▶ 寺社巡りイベントを開催して ▶ 未来への平和な途を探る
- ▶ 人と地域を繋げる ▶ 福祉ボランティアの活動
- ▶ 気象災害を減らすために ▶ 私の地域活動 あれこれ



ワークショップ内での取り組み

ファシリテーターへの ミニレクチャー

- ▶ファシリテーターが初めてでも安心して参加できるよう、ワークショップ開始前に倉持先生からファシリテーションのポイントを教えてくださいました。

みんなの掲示板・交流タイム

- ▶語り手資料、参加者の活動のチラシやパンフレットを紹介するスペースを設けました。
- ▶終了後の交流タイムでは、掲示板を見たり、声をかけあったりしながら参加者同士がつながれる機会となりました。



参加者の感想（一部抜粋）



語り手

- 自分で手に入れられる情報だけだとなかなか手詰まりになっている中、話し合いをする中で、新しい情報や視点を得られました。
- 参加する過程でこれまでの自分の活動をふり返ることができ、頭の整理になった。語り手として発表することでより客観的に捉えることができた。



ファシリテーター

私のグループの語り手は年齢も活動内容も全く異なるお二人でした。2人目のお話が終わって、質問や感想を聴き合うタイミングで、聴き手の方から「活動はちがっても大切にしていることは同じですね！」という声が挙がりました。それは「人とのつながり」だと皆が感じて、自然と拍手が起りました。素敵な瞬間でした。



聴き手

- 今後地域活動をしたかったと思っておりましたが、どうしたら実現できるかイメージがわいておりませんでした。このワークショップで活動されている方の話を聞き、自分の知らない地域活動がたくさんあることに驚き、また勇気づけられました。まずはいくつかの活動にボランティアとして関わることから始めようと思います。次の会には友人を誘って参加します。
- いろいろな人が様々な活動を活発に取り組んでいて、今の地域社会が成り立っているんだな、と感心しました。
- 初めての参加でしたが、普段知り得ない語り手さんの活動の話が新鮮でした。自分の仕事につながる情報も得られて有意義でした。
- 自分の興味や関心などは一切考慮にいれずにグループ分けがされていたことで、今まで聞いたことのない話を聴き合い、話し合うことができとても楽しかったです。また、今実際に行われている実践をベースに話が進んでいくため、自分の活動につなげて考えていきやすいと感じました。
- 初めて社会教育センター主催のイベントに参加させていただきましたが、ふんわりしか理解できていなかった社会教育の意義がわかるようになった気がします。

ワークショップに参加したら、こんなことがありました！



自分にとって新しい分野で活動されている方たちとの出会いがあり、「あ、そうなのか」と思うことがたくさんありました。



仲間が増えたり、前に会った人との関係継続になったり、色々な情報をもらえたりと、とてもためになっています。



顔と顔が繋がって、ふと出会った時に話が弾み、お互いの活動に参加できました。



新たなプロジェクトの企画・立案に活用しました。